

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 膵癌 R1 切除の臨床的意義の検討

[研究責任者] 外科 医師 山下万平

[研究の背景と目的]

膵がんは、治療が難しい病気の一つで、手術を行っても再発することがあります。膵臓は、お腹の奥深くにあり、重要な血管や神経の近くに位置しています。また、膵がんは周囲の神経や組織に広がりやすい性質があります。そのため、手術でできる限りがんを取り除いた場合でも、切除した組織を顕微鏡で詳しく調べた結果、切り取った端の部分にがん細胞が確認されることがあります。このような状態を「R1 切除」といいます。

これは、手術の方法に問題があったという意味ではなく、膵がんが周囲に広がりやすいことや、膵臓が重要な血管などに近い場所にあることから、顕微鏡で確認できなく小さな範囲でがん細胞が切除面に及んでいると判断される場合がある、という意味です。

一方で、顕微鏡で調べても切除した端の部分にがん細胞が確認されない場合を「R0 切除」といいます。本研究では、R1 切除となった場合に、R0 切除の場合と比べて、再発のしやすさ、再発する場所、生存期間などにどのような違いがあるかを調べます。この研究により、膵がんの手術後の経過をより正確に評価し、今後の治療方針を考えるための参考となる情報を得ることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵癌の患者さんで 2013 年 1 月 1 日から 2026 年 10 月 31 日までに長崎医療センターで根治切除術をうけられた方。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

●利用するカルテ情報

年齢、性別、既往歴・合併症、血液検査結果、CT などの画像検査結果、手術前後の治療内容や手術内容、切除した組織の顕微鏡（病理学的）検査結果（病変の広がりやリンパ節転移）、術後の経過（再発の有無や再発部位、生死について）

●検体や情報の管理

カルテ抽出情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 医師 山下万平

電話番号：0957-52-3121（代表）